

令和 5 年度秋特別展実施要領

1 名称

知らなかった蛾の魅力～多様な種の多様な生きざま～

2 趣旨

厚木市内には約 1,400 種の蛾が知られ、市内の動植物種の約 20%を占める重要な生物群です。灯りなどに集まる夜行性の種が多いですが、日中に飛ぶ種も見られます。また、春や冬などの季節限定で成虫が発生する種、河川敷や高山など、限られた環境に生息する種もいます。成虫の食性を見ると、花粉だけではなく樹液や果実の汁を食べたり、逆に絶食する種もいるなど、その生活史は多様です。この展示会では、あつぎにすむ蛾だけではなく、国内友好都市に分布する種も含め、当館所蔵の蛾類標本 34,000 点の収蔵資料から約 300 種を展示し、蛾の魅力や不思議を発見し、もって郷土のすぐれた自然を深く学習する機会とします。

3 展示構成**(1) ミリョクマンサイ**

蛾とはどのような昆虫かを理解した上で、きれいな蛾や希少な蛾、手のひらほどの大きな蛾、季節限定の蛾。オスとメスの出会いや、多様な食性、飛翔とお月様の関係など、私たちが知らなかった蛾の魅力の紹介
(標本・写真展示)

(2) ミヂカデカンサツ

あつぎと国内友好都市に生息するレッドデータ種を含む蛾の紹介 (標本・写真展示)

(3) サムサニモマケズ

冬に成虫が飛ぶ蛾の紹介 (標本・写真展示)

(4) ニンジャトナル

風景に溶け込み、発見困難な蛾の紹介 (標本・写真展示)

(5) ミツケル、ワカル

あつぎの蛾、身近で発見できる蛾を中心に写真で紹介。絵合わせするように、見つけた蛾の名前が分かる導入展示 (写真展示)

4 開催期間

令和 5 年 10 月 7 日 (土) から同年 12 月 3 日 (日) まで

5 会場

あつぎ郷土博物館 企画展示室・エントランスホール・廊下ギャラリー

6 主催

厚木市教育委員会

7 協力

県央自然史研究会・田淵行男記念館

8 講座等

(1) 蛾の魅力を知る講座 1

ア テーマ

サムサニモマケズ～フユシャクの世界を語り尽くす～

イ 日時

令和5年12月3日(日) 13時30分～15時30分

ウ 講師

中島 秀雄氏

エ 講師略歴

日本蛾類学会所属。日本産フユシャクガ科の世界的な権威で、著書に「フユシャク蛾」「標準図鑑日本産蛾類図鑑」など多数。

(2) 蛾の魅力を知る講座 2

ア テーマ

アカリデサソウ～ライトトラップで秋の蛾を観察しよう～

イ 日時

令和5年10月20日(土) 19時～21時

ウ 講師

山本 光人氏・当館学芸員

エ 講師略歴

日本蛾類学会所属。日本産ヤガ科を専攻する一方、日本産蛾類の幼虫解明に尽力されている。著書に「日本産蛾類幼虫図鑑」など多数。

(3) 蛾の魅力を知る講座 3～6 (ギャラリートークとして実施)

ア テーマ・日時

(ア) 発電機とお月見・令和5年10月7日(土) 14～15時

(イ) コンビニとアイス・令和5年10月29日(日) 14～15時

(ウ) 生体と標本のはざま・令和5年11月12日(日) 14～15時

(エ) 儂い観察人生・令和5年11月29日(日)14~15時

イ 講師

当館学芸員

(4) 冬の蛾・生体展示

ア フユシャクガ類の生体展示

冬に成虫が出現するフユシャクガは、オスには立派なはねがあつて飛ぶことができますが、メスは種類によって無翅~短翅で飛ぶことができません。また、成虫は絶食で1か月ほど生存します。あつぎで最も早く出現するフユシャクガ類の一種、クロテンフユエダシャクの生体を展示します。

イ 期間

令和5年11月11日から同年12月3日(日)まで

※生物の事情や天候によって公開ができない場合があります。

(5) 小冊子の刊行

特別展の内容を記載した小冊子を、新書版、フルカラー、1,000部を刊行します。